

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	DICER1 症候群における甲状腺腫瘍発現の解明
	研究目的	DICER1 症候群ではしばしば多結節性甲状腺腫が認められるが、甲状腺腫瘍の発症や癌化のメカニズムはまだ解明されていない。 こども医療センターで DICER1 症候群と診断され、こども医療センター及び当院で甲状腺手術を施行した症例を用いて、凍結された正常組織・腺腫組織・甲状腺癌組織および血液検体での遺伝子変異を解析し、DICER1 症候群における甲状腺腫瘍発現のメカニズムを解明する。
	研究対象者	2014 年～2019 年の間に、こども医療センターでの次世代シーケンサーの解析で DICER1 症候群と診断がつき、こども医療センターおよび当院ですでに甲状腺腫瘍に対し手術を行い、手術検体および血液検体が保存されている症例であり、かつ当センターの医学研究に関する包括的同意が得られているもの。
	研究期間	西暦 2020 年 4 月 1 日～西暦 2022 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input checked="" type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	乳腺内分泌外科 菅沼伸康
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	乳腺内分泌外科、病理診断科、臨床研究所
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	神奈川県立こども医療センター 遺伝科部長 黒澤健司 神奈川県立こども医療センター 病理診断科部長 田中祐吉 神奈川県立こども医療センター 血液腫瘍科医長 浜之上聡 横浜市立大学附属病院 外科治療学講師 菅沼伸康 横浜市立大学附属市民総合医療センター 乳腺甲状腺外科医員 菅原裕子